



学校と地域の連携推進  
モデル事業 特別号  
発行：河内教育事務所

# ふれあいKAWACHIネット

## これからの地域と連携に必要なことは「〇〇の共有」

河内管内の公立小中学校は、地域とともにある学校づくりを目指して、地域コーディネーター（学校支援コーディネーター）を配置し、多様かつ継続的な活動に取り組んでいます。そして、その取組は地域の特性を生かしたものになっています。

このような中、学校と地域の連携推進モデル事業を実施して、地域学校協働活動にとって重要なことが見えてきました。それは、「**学校と地域が目標を共有すること**」です。以下は、目標を共有する前と後の違いについて、地域コーディネーターにお聞きした内容です。

「トイレ掃除活動」の事例です。

### 【 これまで 】

普段では、手が届かないトイレ掃除はありがたい。

子供たちが気持ちよく使えるよう、トイレをきれいにしたい。



学校

地域

今までは、学校側のお願いを、地域がそれに応えるという形がほとんどであったが・・・

地域との連携・協働を円滑に行うために、地域と目標を共有することが大切です。その前提として、**地域学校協働活動に関わる地域の方とのコミュニケーション**は欠かせないので、**学校と地域がそれぞれの立場から考えや思いを伝え合います**。そして、これまで以上に学校や地域の強みを生かしながら、**多くの人たちとつながりのある教育活動**に取り組んでいただきたいと思います。

### 地域活動者の原動力とは・・・

地域コーディネーターやボランティアの方々の、地域学校協働活動に対するモチベーション（動機付け）は何だと考えますか？

長年、コーディネーターとして活躍している方から聞いたことですが、現在行っている活動のきっかけは、担当の先生が休み時間に、お礼をわざわざ言いに来たことにあるそうです。また、校内の掲示板に、ボランティアの写真を掲示していることも地域で良い評判になっているようです。

**人を動かすのは「気持ち」**です。日頃から挨拶やちょっとした気配りを行えば、学校のパートナー（ボランティア）とのより良い関係構築につながると思います。

### 【目標を共有すると・・・】

学校と地域（学校支援）コーディネーター等との話し合いを重ねていくことで・・・

**目標：児童生徒がトイレ掃除の仕方を身に付ける。**

#### 目標共有による**地域の方**の意識の変容！

- 子供たちは雑巾の絞り方が分からないんだ。
- 低学年用の雑巾を作ると良いね。
- 上級生に箒の掃き方、手順を教えよう。
- トイレ掃除を頑張った子供たちを褒めよう。
- 手本となる上級生を育てよう。

### 連携・協働

#### 子供たちの成長

- 掃除の仕方をマスターする。
- トイレをきれいに使う。
- 上級生が下級生に教える。
- 愛校心が芽生える。
- 「私が磨いたんだ」との思い。

子供の  
自己有用感  
の高まり

#### 地域の方と信頼関係を作る三本柱とは

##### その1 全職員の理解

→地域とともに子供を育てる意義！

##### その2 コミュニケーション

→まずは挨拶！

##### その3 感謝の心を伝える

→人をつなぐ  
魔法の言葉！

